

会長あいさつ

第33回国民文化祭、
第18回全国障害者芸術・文化祭
別府市実行委員会 会長
別府市長

長野 恭紘



第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会が「おおいた大茶会」をテーマに、平成30年10月6日から11月25日の51日間にわたり、大分県内各地で開催されました。

本市では、現代美術や伝統芸能、音楽、文芸など様々な分野でリーディング事業と分野別事業を合わせて12の事業を主催し、約6万6千人にご来場いただきました。

リーディング事業では、現代美術の分野において最も重要なアーティストの1人として国際的に注目されているアニッシュ・カプーア氏による別府公園を会場にした「アニッシュ・カプーアIN別府」を開催しました。日本初公開作品を含む展覧会には、国内のみならず、海外からも多くの観客が訪れました。

分野別事業では、出演者同士の競演・交流が図られたほか、多くの市民の皆様に、様々な文化を身近に感じていただけたのではないかと思います。各種イベントには市内の子ども達や障がいのある方、留学生なども多く参加しており、本市の文化振興を図るうえで、大変意義深いものとなりました。

また、全国からお集まりの皆様には、日本一の湧出量と源泉数を誇る市内各所に湧き出る温泉や、情緒ある湯けむりの風景、地獄めぐりや地獄蒸し料理など、本市が持つ魅力を存分に満喫していただけたことと思います。

このたび、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭をレガシーとして今後の文化振興の糧となるようこの公式記録集を発行いたしましたので、ご高覧いただけますと幸いです。

結びに国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催にあたり、多大なご尽力とご支援を賜りました実行委員会の皆様をはじめ、すべての関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、あいさつといたします。